

開講科目名 / Course	保健ボランティア	
ターム・学期 / Term・Semester	2021年度 / Academic Year 前期	
開講区分 / semester offered	通年	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	2	
主担当教員 / Main Instructor	福田 広美	
担当教員名 / Instructor	福田 広美	
必修・選択 / compulsory subject	選択	
講義形態 / Class Type	演習	
科目の目的と概要	保健・医療に関連するボランティアを体験することで、保健・医療現場についての理解を深めると共に、現場を支えているボランティアそのものについても理解を深めることを目的とする。また、従事するボランティアを探し、交渉し、決定、参加するプロセスを通し、主体性を育成する。	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保健・医療に関するボランティア活動を体験し、体験からボランティアの意義や実情を説明できる。 2. 自己のボランティア体験を振り返り、ボランティアを受ける側の考えやニーズを理解し説明できる。 3. ボランティア活動する際に、倫理観をもち、ルールを厳守し、主体的な行動をとることができる。 	
DPとの対応	3.心豊かな人間性と倫理観、4.より健康な社会の実現に向けて課題を見出し、改革・改善する力、5.国際性を持ち、多くの職種や人々と連携・協働する力	
授業計画	01. ガイダンス（別途指示する） 02. ボランティア活動の準備・計画 03-13. ボランティア活動 14-15. レポート作成	
その他の授業の工夫	保健・医療に関連するあらゆるボランティアから、興味あるボランティアを探し参加できる。実際に体験することで、視方や考え方、交流する人や場が広がる。	
時間外学修	参加するボランティアに応じて計画する。	
評価方法と評価割合	30時間の規定時間以上の保健・医療に関わるボランティアに参加することを前提とし、主催者のサイン入りの参加証明書を提出すること。また、参加した経験による学びのレポートを提出する。評価の重みづけは、規程時間以上の参加（70%）、レポート（30%）。	
テキスト		
参考書		
履修する上で必要な要件		
その他		
教員の実務経験	有・無	無
	内容	
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	有
	内容	学生が参加するボランティア主催者、協力者による。
実務経験をいかした教育内容	学生が参加するボランティア活動によって内容は異なるが、実際に活動を行っている現場の方やイベント主催者や協力者がその経験を活かして学生を指導する。	